

令和3年 園内研究テーマ
 「輝く芽を育てよう」
 ~遊びに関わり、豊かな心を育む~

いちご組（1歳児）

日頃から保育教諭と一緒に散歩を楽しんできたことで、歩く力がつき、様々な出会いを経験してきました。散歩を通し、どのような気づきがあったでしょう。



これ、なにかな…
 ちょっといやだ…

これなに!?
 さわってみたい!

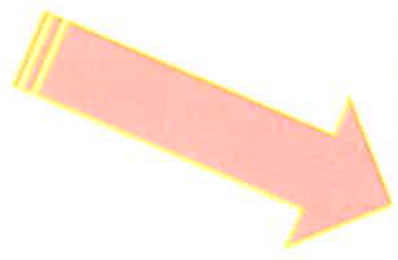
散歩中、保育教諭が大きな「へちま」を見つけました。
 「これなにかな〜」「おっきいね〜」と言うと…

自分達よりも大きな物体をみて驚きの表情です。興味津々の子もいれば不快を表現する子もいます。子ども達の気持ちは…

- ♥直感的に考える
- ◆諸感覚で感じる、触れる
 見たままをそのまま捉えて考えてみたり、触って確かめようとしたりしてももの大きさを感じています。
- ★生活の中の言葉が分かり楽しむ
 保育教諭が言った「おっきいね〜」を繰り返し子ども達も言います。このような経験の繰り返しが「大きい」という言葉の認識につながっていきます。また「おっきいね〜♪」の動作や音などの繰り返しも子ども達は楽しんでいます。



- ♥安心感を感じる
 ★やりたいことに向かって自ら行動し、主張する
 特定の人（保育教諭）に見守られていると安心感を得られ、自分のやりたいこと（へちまを触ってみたい）をやってみようとしています。また、いつも一緒にいる友達が触ったら…私も触ってみたいなど様々な気持ちを経験します。
- ◆♥感じる
 植物に触れることで興味を持ち始めました。



「つんつん」

(私も)
 「つんつん」

不安そうにしていた子も散歩を繰り返して、友だちの様子を見て…自分から触れて確かめる姿を見せられます。

- ♥ものを介して、人との関わりを楽しむ
- ★行動を共有する
 友達の真似をしたり友達と一緒にしたりすることを楽しんでいます。「つんつん」という言葉のリズムも友達と一緒に楽しんでいますね。

散歩することは…

- ◆基本的な動きを身に付ける
 体全身を使って歩いたり立ち止まったりしながら運動をするので、体力作りにもなります。
- ♥★友達や保育教諭、知っている人と一緒にすることを楽しむ
 いつも一緒にいる人と安心して過ごすからこそどんな活動も楽しめます。また、思い通りに身体を動かす楽しさも感じられます。

散歩が始まった頃は保育教諭の発見を子ども達に伝えることが多かったのですが、今では子ども達の方から指さしをして、少しずつですが様々な気づきを言葉にして伝えられるようになってきました。散歩することが楽しくて仕方ない様子です。これからも子ども達と一緒に「みつけたね。」「すごいね。」「やったね。」を共感していきたいです。